

用法・用量の追加のお知らせ

カルバペネム系抗生物質製剤

日本薬局方 注射用メロペネム

メロペネム点滴静注用 0.25g「日医工」

メロペネム点滴静注用 0.5g「日医工」

メロペネム点滴静注用バッグ 0.5g「日医工」

販売元 日医工株式会社
富山市総曲輪 1 丁目 6 番 21
製造販売元 日医工ファーマ株式会社

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、弊社のメロペネム点滴静注用 0.25g / 0.5g / バッグ 0.5g「日医工」（有効成分：メロペネム水和物）につきまして、用法・用量が追加になりましたので、お知らせ申し上げます。

今後のご使用に際しましては下記内容をご高覧くださいませようお願い申し上げます。

敬白

<新旧対照表> (_____ : 変更箇所)

| 新 | 旧 |
|--|--|
| <p>【用法・用量】</p> <p>本剤の使用に際しては、投与開始後 3 日を目安としてさらに継続投与が必要か判定し、投与中止又はより適切な他剤に切り替えるべきか検討を行うこと。</p> <p>1. 一般感染症</p> <p>化膿性髄膜炎以外の一般感染症</p> <p>通常、成人にはメロペネムとして、1 日 0.5～1 g (力価) を 2～3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、1 回 1 g (力価) を上限として、1 日 3 g (力価) まで増量することができる。</p> <p>通常、小児にはメロペネムとして、1 日 30～60mg (力価) / kg を 3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、1 日 120mg (力価) / kg まで増量することができる。ただし、成人における 1 日最大用量 3 g (力価) を超えないこととする。</p> <p>化膿性髄膜炎</p> <p>通常、成人にはメロペネムとして、1 日 6 g (力価) を 3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜減量する。</p> <p>通常、小児にはメロペネムとして、1 日 120mg (力価) / kg を 3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜減量する。ただし、成人における 1 日用量 6 g (力価) を超えないこととする。</p> <p>2. 発熱性好中球減少症： 現行どおり</p> | <p>【用法・用量】</p> <p>本剤の使用に際しては、投与開始後 3 日を目安としてさらに継続投与が必要か判定し、投与中止又はより適切な他剤に切り替えるべきか検討を行うこと。</p> <p>1. 一般感染症</p> <p>通常、成人にはメロペネムとして、1 日 0.5～1 g (力価) を 2～3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、1 回 1 g (力価) を上限として、1 日 3 g (力価) まで増量することができる。</p> <p>通常、小児にはメロペネムとして、1 日 30～60mg (力価) / kg を 3 回に分割し、30 分以上かけて点滴静注する。なお、年齢・症状に応じて適宜増減するが、重症・難治性感染症には、1 日 120mg (力価) / kg まで増量することができる。ただし、成人における 1 日最大用量 3 g (力価) を超えないこととする。</p> <p>← 記載なし</p> <p>2. 発熱性好中球減少症： 略</p> |

